

平成 29 年度	<h1>都市整備部の取り組み実績</h1>
	<p><部の構成></p> <p>都市計画課、景観住宅整備課、連続立体交差推進室、施設整備室、開発指導室 開発調整課、開発指導室開発審査課、開発指導室建築安全課</p>


1. 重点施策・事業

(1) 人が集まるまちづくりの取り組み	
目標	<p>空き家・空き地の適切な管理を促進し、その活用等に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、「枚方市空家等対策計画」を策定し、空き家等対策に取り組みます。また、市外に住む子育て世帯や若年夫婦世帯が、市内在住の親世帯と同居・近居するための住宅リフォームまたは住宅購入に対する助成や、マイホーム借上げ制度の周知・普及により、高齢者の持ち家を子育て世帯等へ転貸することで空き家化を防ぐとともに、若年世代の市内転入など定住促進を図ります。</p>
取り組み	<p>枚方市空家等対策計画については、枚方市空家等対策協議会の意見を聴きながら策定を進めるとともに、空き家等の有効活用に向けた取り組みを推進するため、空き家所有者に対し活用などについて意向調査を行い、所有者と自治会など地域の公共的課題の解決に取り組む団体等とのマッチングなどを行います。</p> <p>三世代家族・定住促進事業については、同居のための持ち家のリフォーム費用や同居・近居のための住宅取得費用に対して助成を行います。また、高齢者世帯や子育て世帯等が、それぞれの生活に合った住宅への住みかえを支援するため、関係機関等との連携により、マイホーム借上げ制度の周知・普及に努めます。</p> <p>平成 29 年度当初予算：5,040 千円【空き家・空き地対策推進事業関連】、12,720 千円【三世代家族・定住促進事業関連】</p>
実績	<p>枚方市空家等対策協議会より計画案について答申を受け、計画案に関するパブリックコメントの実施を経て、平成 29 年 12 月に枚方市空家等対策計画を策定しました。また、本市の空き家の所有者等に対して意向調査を実施し、調査結果の集計、分析を行い、空き家の活用に向けて具体的な対策の検討を行うとともに、マッチングに向けた仕組みとして専門家団体との連携に関する協議を進めました。</p> <p>三世代家族・定住促進事業について 61 件の助成を行い、さらに住宅金融支援機構との協定を締結することで事業の促進を図り、マイホーム借上げ制度については、制度説明会および個別相談会を各 2 回開催しました。</p> <p>平成 29 年度決算：4,674 千円【空き家・空き地対策推進事業】、18,241 千円（※補正予算等の対応あり）【三世代家族・定住促進事業関連】</p>
取り組みに対する達成状況 【 ◎ 】	

(2) (仮称) 枚方市総合文化芸術センターの整備や公共建築物の整備・保全

<p>目標</p>	<p>平成 32 年度の完成をめざして (仮称) 枚方市総合文化芸術センターの整備に取り組むとともに、その他計画的な公共施設の整備・保全に取り組みます。</p> <div data-bbox="470 347 1189 705" style="text-align: center;"> <p>～ (仮称) 枚方市総合文化芸術センターの整備のイメージ～</p>  </div>
<p>取り組み</p>	<p>本市の中心市街地である枚方市駅周辺の再整備として、文化芸術の拠点施設となる (仮称) 枚方市総合文化芸術センターの平成 32 年度完成に向け、実施設計や工事に必要な諸手続きを進めます。</p> <p>また、枚方保育所の建替えについては年内の完成をめざすとともに、香里ヶ丘図書館の建替えは、プロポーザル方式により設計事業者を選定のうえ、隣接する香里ヶ丘中央公園の再整備と一体的な設計に着手します。さらに、新児童発達支援センターの整備に向け設計を完了し、引き続き、建築工事に着手します。</p> <p>市有建築物の維持保全については、市有建築物保全計画の「第Ⅱ期実施計画」に基づき財政負担の平準化を図りながら、計画的な改修・更新工事を進めます。</p> <p>平成 29 年度当初予算：166,288 千円【(仮称) 枚方市総合文化芸術センター整備関連】、1,636,093 千円【公共建築物の整備・保全関連】</p>
<p>実績</p>	<p>(仮称) 枚方市総合文化芸術センターについては、平成 30 年度の工事着手に向け、実施設計及び申請手続きが完了しました。</p> <p>枚方保育所の建替えについては、予定どおり年内に完成しました。また、香里ヶ丘図書館の建替えについては、プロポーザル方式で選定された設計事業者と契約締結し、設計を進めており、引き続き、建築工事に着手します。さらに、新児童発達支援センターは建築工事に着手し、平成 30 年度末の完成を目指し工事を進めています。</p> <p>また、市有建築物の維持保全については、当該計画に基づき平成 29 年度の予定工事(26 件)を完成し、平成 30 年度の工事実施に向けた設計業務についても完了しました。</p> <p>平成 29 年度決算：170,630 千円 (※補正予算等の対応あり)【(仮称) 枚方市総合文化芸術センター整備関連】、1,467,967 千円【公共建築物の整備・保全関連】</p>
<p style="text-align: center;">取り組みに対する達成状況 【 ○ 】</p>	

(3) 京阪本線連続立体交差事業と新たなまちづくり

<p>目標</p>	<p>枚方公園駅付近から香里園駅付近（寝屋川市）までの延長約 5.5 キロメートル（うち枚方市域約 3.4 キロメートル）の鉄道高架の完成目標を平成 40 年度とし、平成 31 年度から工事に着手できるよう事業用地の取得に取り組んでいきます。あわせて、光善寺駅周辺については（仮称）光善寺駅西地区市街地再開発準備組合とともに市街地再開発事業による新たなまちづくりを進めます。</p>	<p>～高架後の光善寺駅前広場のイメージ～</p> 
<p>取り組み</p>	<p>できる限り早期に鉄道高架の工事に着手できるよう、計画的かつ効率的に事業用地の取得を進めます。また、駅前にふさわしいまちづくりを進めるため、（仮称）光善寺駅西地区市街地再開発準備組合の活動に対する技術的支援を行うとともに、都市再開発の方針や用途地域など関連する都市計画の変更を行います。</p>	
	<p>平成 29 年度当初予算：3,772,201 千円</p>	
<p>実績</p>	<p>京阪本線連続立体交差事業の用地取得業務については、大阪府からの配当額をもって鋭意取り組みました。</p> <p>また、光善寺駅周辺に関しては市街地再開発準備組合において事業化に向けた取り組みが進められており、より具体的な検討をするため事業協力者（住宅デベロッパー、総合建設会社）の募集選定が行われました。その選定作業等に対し技術的支援を行うとともに、事業の実現に必要な都市再開発の方針や第一種市街地再開発事業、その他用途地域などの関連する都市計画の決定・変更を行いました。</p>	
	<p>平成 29 年度決算：2,274,856 千円</p>	
<p>取り組みに対する達成状況</p>		<p>【 ○ 】</p>

(4) 木造住宅の耐震化の促進

<p>目標</p>	<p>木造住宅の耐震化を促進し、大地震時の被害軽減に努めます。</p>	
<p>取り組み</p>	<p>簡易改修や部分改修を対象とした、新たな耐震補助制度の周知・活用を図ります。旧耐震基準により建てられた木造住宅が集積する地区においては、重点的に啓発等の取り組みを行います。</p>	
	<p>平成 29 年度当初予算：62,875 千円</p>	
<p>実績</p>	<p>4 月より、簡易・部分改修を対象に加えた補助制度の周知・運用を進めています（交付決定戸数は、診断 76 戸、設計 48 戸、改修 59 戸）。また、6 月に旧耐震木造住宅の集積する地区（新之栄町）で、自治会等と連携し重点的な耐震化の啓発を行いました。</p>	
	<p>平成 29 年度決算：56,064 千円</p>	
<p>取り組みに対する達成状況</p>		<p>【 ◎ 】</p>

2. 行政改革・業務改善

◆新行政改革実施プランの改革課題

改革課題	取り組み内容・目標
14. 外郭団体等の経営健全化の促進	枚方市街地開発株式会社について、平成 26 年 10 月に策定した経営プランが着実に推進されるよう進捗管理を行います。
実績	引き続き、経営プランの進捗管理を行っています。また、チェックシートを作成し、経営状況等の点検・評価を行い、点検・評価結果に対する対応方針を作成しました。
取り組みに対する達成状況 【 ◎ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
29. 市有建築物の効率的・効果的な改修・更新工事	市有建築物保全計画の「第Ⅱ期実施計画」に基づき「輝きプラザきらら」及び「中央図書館」の老朽化した空調設備の更新や LED 照明への取替えなどについて、民間活力を活用する ESCO 事業を導入し効率的・効果的に実施します。
実績	市有建築物保全計画に基づき改修・更新工事を推進するとともに、「輝きプラザきらら」及び「中央図書館」については ESCO 事業により、空調設備等更新工事を行いました。
取り組みに対する達成状況 【 ◎ 】	

◆業務改善のテーマ・目標

テーマ	取り組み内容・目標
事務の効率化	人件費縮減など効率的な業務の執行を図るため、開発審査会等の会議録作成において外部委託を行うなど、業務内容の再点検を行います。
実績	会議録作成の外部委託を行うことにより、会議録作成の期間が短縮できました。また、職員の負担軽減に寄与することができました。
取り組みに対する達成状況 【 ◎ 】	

テーマ	取り組み内容・目標
事務内容の承継	事務のマニュアルを作成し、共有化を図るとともに、効率的な事務運営を図ります。
実績	各課ごとに『所管事務の概要』をまとめ、配属職員の業務内容の理解を深めるとともに各課の業務内容を部内共有することができました。
取り組みに対する達成状況 【 ◎ 】	

3. 予算編成・執行

- ◆事業の実施にあたっては、できる限り国の交付金等を活用し、財政負担の軽減に努めます。

実績	現在、本市が事業展開を進める枚方市駅周辺地区ならびに香里団地センター地区において、『都市再生整備計画』に位置づけた交付対象事業に対して積極的に交付金の活用を図りました。また、重点配分が期待できる『地方再生コンパクトシティ』へのエントリーなど新たに創設される制度に対しても積極的に検討を行いました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆京阪本線連続立体交差事業の用地取得については、平成 29 年度の用地取得業務を引き続き民間機関を活用しながら効率的に進めます。

実績	用地取得業務について、一般社団法人近畿建設協会枚方支所への委託契約により業務を進めました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆公共施設の整備・保全にあたっては、品質の向上とコスト低減をファシリティマネジメントの視点で取り組み、効果的な予算執行に努めます。

実績	公共施設の整備・保全に際し、品質向上を考慮しつつ、省エネルギー面で有用な照明や衛生器具などの資材を選定し、ライフサイクルコストの削減に繋げるとともに、保全にあたっては計画に基づいた予防保全に取り組むことにより、効率的・効果的な予算執行に努めました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆国や大阪府の補助制度を活用し、市内の住宅・建築物の耐震化を促進します。

実績	既存民間建築物耐震診断補助金、木造住宅改修設計、改修工事補助金、住宅除却工事補助金のうち、50%を社会資本整備総合交付金（国費）、約 25%を大阪府震災対策推進事業補助金（府費）を活用し、住宅・建築物の耐震化を促進しました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

4. 組織運営・人材育成

- ◆定期的な部内会議等により、部の運営方針に基づく組織目標や課題事項について共通認識を図りながら、事業推進を図ります。

実績	理事者会議等の開催に併せて部内の事務連絡会議を実施し、市の方針等の情報共有を図った。あわせて部内各課が抱える課題等の報告を行い、部内共有を図るとともに課題解決に向けた協議を行いました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆組織の目標達成と業務の円滑な遂行には職員の専門知識と経験が必要となることから、研修への参加と成果の共有化を図り、行政ニーズに的確に対応できる人材の育成に努めます。また、中堅職員がサポートしながら、OJTを通じ若手職員の育成に取り組みます。

実績	<ul style="list-style-type: none">・ 開発指導や建築指導に係る研修会等への積極的な参加により、担当職員の専門知識の習得及び資質向上が図られました。（開発調整課）・ 近畿ブロック開発許可・宅地防災行政連絡協議会、大阪府開発許可宅地防災行政連絡協議会、近畿建築行政会議、大阪府内建築行政連絡協議会をはじめとする関連協議会、各種ワーキング等に積極的に参加し、また国土交通大学校、一般財団建築行政情報センター、一般財団日本建築センター等の各種研修に参加及び内容の共有を図り、行政ニーズに的確に対応できる人材の育成に努めました。また、中堅職員がサポートしながら、OJTを通じ若手職員の育成に取り組みました。（開発審査課）
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆災害時における二次的災害を未然に防止するため、建築物や宅地の安全確認を行う判定士や被災建築物応急危険度判定コーディネーターの資格取得者の増員を図ります。

実績	被災宅地危険度判定士として7人が新規に資格を取得、15人が資格を更新した。また、被災建築物応急危険度判定士として14人が資格を更新しました。 これにより職員の危機管理意識の向上を図ることができました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆住宅施策等に関し、国・府・UR等、様々な関係機関と情報の共有化や意見調整を図り、効果的な施策立案と効率的な業務執行を図ります。

実績	府営住宅資産の有効活用について、大阪府とまちづくり会議を開催し、府営住宅建替えの進捗状況や空室活用などについて情報共有や意見調整を行いました。 また、URの市内団地建替事業に関して、関係課協議により調整を行いました。
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

5. 広報・情報発信

- ◆人が集まるまちづくりを進めるための都市政策に関し、その取り組み状況を市民の皆様と共有できるよう情報発信に努めます。

実績	空家等対策計画について、計画案に関するパブリックコメントを実施し、市民等からの意見の提供を経て、計画を策定しました。	
	三世代家族・定住促進事業について、平成29年10月からは住宅金融支援機構の【フラット35】子育て支援型・地域活性化型の対象事業となり、案内リーフレットやダイレクトメール、新聞記事への掲載など、連携協定による情報発信に努めました。	
取り組みに対する達成状況		【 ◎ 】

- ◆都市計画に係る説明会や都市計画変更の内容、よりよい景観形成をめざすための屋外広告物の規制等に関する取り組み、安全・安心なまちづくりを進めるための耐震化の必要性や補助制度など、きめ細かな情報発信を行います。

実績	・枚方市屋外広告物条例制度の周知及び安全啓発を推進するため、枚方市駅周辺で広告物を掲出している店舗を対象にパトロール活動を行いました。（景観住宅整備課）	
	・都市計画の決定及び変更に係る内容については、本市広報ならびにホームページを活用し広く市民に周知を行うとともに、特に関係する方々には可能な範囲で個別周知を行いました。（都市計画課）	
取り組みに対する達成状況		【 ◎ 】

- ◆市民の皆様や枚方市の職員を志す学生などに、都市整備部の業務内容を広く知っていただくため、リーフレットを作成しホームページにも掲載します。

実績	都市整備部の仕事概要として、市民や枚方市の職員を志す学生等に広く、分かりやすく知って頂くことを目的として、『都市整備部のしごと』としてとりまとめ、職員採用セミナー等への配布及びホームページへの掲載を行いました。
	取り組みに対する達成状況